

## ■ 基調講演

### 講演 I



## 「バイデン政権の東アジア太平洋政策」

佐々木 卓也

立教大学法学部教授。法学博士（一橋大学）。主な著作に『冷戦』（有斐閣、2011年）、「アメリカの東アジア・太平洋外交」広島市立大学広島平和研究所編『アジアの平和とガバナンス』（有信堂高文社、近刊）など。専門はアメリカ外交史、日米関係史。

### 講演 II



## 「中国習近平政権の自信と不安」

高原 明生

東京大学公共政策大学院教授。東京大学法学部卒業。英国サセックス大学開発問題研究所博士課程修了(DPhil)。立教大学法学部教授等を経て、2005年より現職。JICA緒方貞子平和開発研究所所長を兼任。専門は現代中国の政治、東アジアの国際関係。

### 講演 III



## 「東アジアの〈新冷戦〉と朝鮮半島の〈脱冷戦〉」

李 鍾元

早稲田大学大学院アジア太平洋研究科教授。博士（法学）東京大学。東北大学法学部助教授、立教大学法学部教授を経て2012年より現職。プリンストン大学客員研究員、北京大学訪問学者などを歴任。専門は国際政治学、現代朝鮮半島研究。

## ■ パネルディスカッション

### パネリスト



吉田 文彦

東京大学文学部卒、朝日新聞社入社。2000年より論説委員、論説副主幹。その後、国際基督教大学（ICU）客員教授、カーネギー国際平和財団客員研究員などを経て、2016年から長崎大学核兵器廃絶研究センター教授。



森田 裕美

中国新聞社論説委員。お茶の水女子大学文教育学部外国文学科卒、中国新聞社入社。日本政府による被爆者援護問題のほか、世界の核被害者の実態、被爆と表現、戦争の記憶の継承などについて取材執筆。



加藤 美保子

広島市立大学広島平和研究所講師。北海道大学博士号（学術）取得。北海道大学スラブ・ユーラシア研究センター特任助教などを経て、2021年4月より現職。専門はロシア外交、東アジア国際政治。

### モデレーター



沖村 理史

広島市立大学広島平和研究所教授。東京大学教養学部卒、一橋大学大学院法学研究科修了。博士（法学、一橋大学）。島根県立大学総合政策学部教授を経て、2019年より現職。専門分野は国際関係論、国際制度研究。

### 申込方法

ご視聴には事前参加申込が必要です。URLもしくはQRコードをご利用の上、ウェブサイトからお申し込みください。

<https://20211204symposium-hiroshima-cu.jp/>

申込締切：2021年11月26日（金）



### ■ お問い合わせ先

20211204シンポジウム運営事務局

E-mail: [symposium-hiroshima2021@h-achieve.com](mailto:symposium-hiroshima2021@h-achieve.com)

※受付完了メールの受信できるようあらかじめ『@h-achieve.com』の受信ができるよう設定をお願いいたします。またdocomo、au、softbankなどのキャリアメールアドレスでの登録は、受信設定等によりメールが届かない可能性がございますので、なるべくお控えいただきますようお願いいたします。